



澤

田

美

喜

人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンバス



2011 10/22 SAT - 12/11 SUN

開館時間 9:00-17:00 ※入館は16:30まで

休館日 月曜日・毎月1日

主催 大磯町郷土資料館  
協力 エリザベス・サンダース・ホーム  
影山智洋写真事務所



大磯町郷土資料館  
Oiso Municipal Museum

# 『人生は自分の手で、どんな色にでも塗りかえられるものである』

“Life can be painted into any color that you want  
with your own pair of hands!”

~ Miki Sawada



三菱財閥・岩崎家に生まれ、後に初代国連大使となる外交官・澤田廉三と結婚した澤田美喜は、終戦後、進駐軍兵士と日本人女性との間に生まれ、孤児となった子どもたちの救済を決意します。私財をなげうって資金集めに奔走するなど、苦心の末に政府に物納した大磯岩崎別邸を買い戻した澤田美喜は、昭和23年（1948）にエリザベス・サンダース・ホームを開設しました。しかし、戦後の厳しい時代において、美喜の活動はなかなか理解されず、心無い批判や中傷を受けることも少なくありませんでした。それでも多くの子どもたちを育て上げ、社会に送り出した功績は、やがて世界の人々の知るところとなり、多くの称賛の声が寄せられるようになります。そして、没後は、大磯町名誉町民として末永く顕彰されています。

本展では、澤田美喜の生き方を「グローバルな視点」・「生命尊厳の哲学」・「平和創造の行動力」という3つの視座を中心に見つめています。未曾有の大災害に見舞われた今だからこそ、どんな困難にもめげず、勇敢に信念を貫き通した、美喜の力強い生き方に学ぶことが多いのではないかと考えます。



写真  
① 昭和54年 自ら描いた十字架と  
② 祈りを捧げる美喜と子ども達  
③ 昭和23年 ホーム創立当初の子供たちと  
④ 昭和28年 第2回アメリカ訪問  
⑤ エリザベス・サンダース・ホーム設立当初の看板  
⑥ 世界中の友人からのエメール  
⑦ 昭和10年 ニューヨークにて  
提供/エリザベス・サンダース・ホーム ②⑤⑦  
影山智洋氏 ①③④⑥



## 大磯町郷土資料館 Oiso Municipal Museum

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1 (県立大磯城山公園内)  
HP : <http://www.town.oiso.kanagawa.jp/shisetsu/shiryokan/index.html>  
Blog : <http://scn-net.easymyweb.jp/member/oisomuseum/>  
Twitter : @oisomuseum

■アクセス 公共交通をご利用の方：JR東海道線大磯駅下車  
徒歩：約30分(約2km)／バス：「二宮駅」「国府津駅」「湘南大磯住宅行」 城山公園前下車約5分  
車をご利用の方：小田原厚木道路 大磯インターより約5分／  
西湘バイパス 大磯西インターより約2分 ※①県立大磯城山公園駐車場有

■観覧料：無料

■お問い合わせ：0463-61-4700